

■一般目標 (GIO)

口腔二大疾患であるう蝕と歯周病の疫学と病因論，予防法・治療法について理解する。

■到達目標 (SBOs)

う蝕と歯周病の多因性疾患としての特徴を説明できる。
う蝕と歯周病の発症因子を列挙し、3大要因別に峻別できる。
歯と歯周組織の構造を踏まえてう蝕と歯周病の症状や進行を説明できる。
う蝕と歯周病の予防法を3大要因に関連付けて説明できる。

■教科書：1 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学（学建書院）第4版
2 配布資料

■参考書：歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝
（医歯薬出版）

■授業時間：金曜日 9:00～9:50 10:00～10:50

■オフィスアワー：川戸貴行 金曜日 17:00～18:00

kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp

尾崎哲則 月曜日 17:00～18:00

ozaki.tetsunori@nihon-u.ac.jp

田邊奈津子 金曜日 17:00～18:00

tanabe.natsuko@nihon-u.ac.jp

三澤麻衣子 火曜日 12:00～13:00

oshikawa.maiko@nihon-u.ac.jp

田中 一 火曜日 17:00～18:00

tanaka.hajime@nihon-u.ac.jp

■授業の方法：教科書、参考書または配布資料をもとに毎回の授業を進め、第15回と第30回では授業の振り返りを行う。

■準備学習・各授業回で1時間の予習、1時間の復習を準備学習にあてる
準備学習時間：こと。

■成績評価方法：定期試験（90%）と2回の振り返りでの提出物（10%）で評価する。

■注意事項：

■実務経験：川戸貴行：現在，日本大学歯学部衛生学講座に在籍しており，歯科医師の立場からう蝕と歯周病の環境要因について，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかを学ぶ場を提供したいと考えている。

尾崎哲則：現在，日本大学歯学部医療人間科学分野に在籍しており，歯科医師の立場からう蝕の病理変化について，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかを学ぶ場を提供したいと考え

ている。

田邊奈津子：現在，日本大学歯学部生化学講座に在籍しており，歯科医師の立場からう蝕と歯周病の宿主要因について，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかを学ぶ場を提供したいと考えている。

三澤麻衣子：現在，日本大学歯学部医療人間科学分野に在籍しており，歯科医師の立場からう蝕と歯周病の疫学，病理変化，リスクファクターについて，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかを学ぶ場を提供したいと考えている。

田中 一：現在，日本大学歯学部細菌学講座に在籍しており，歯科医師の立場からう蝕と歯周病の細菌要因について，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかを学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 10月1日 川戸 貴行	う蝕の疫学と病因論 (教) pp. 115～120 資料配布	・ う蝕の歴史と，日本のう蝕罹患の現状について知る。
第2回 10月1日 三澤麻衣子	う蝕の宿主要因1 資料配布	・ 宿主要因とはどのようなものかを知る。 ・ また，その関係性を疫学調査のデータをもとに理解を深める。
第3回 10月15日 田邊奈津子	う蝕の宿主要因2 (教) pp. 42～44	・ う蝕の宿主要因を Keyes の輪のう蝕因子を具体的に知り理解を深める。
第4回 10月15日 田邊奈津子	う蝕の宿主要因3 (教) pp. 46～47	・ う蝕の宿主要因を踏まえて，う蝕活動性試験について理解を深める。
第5回 10月22日 川戸 貴行	う蝕と食物1 資料配布	・ 糖質とう蝕との関係について学ぶ。
第6回 10月22日 川戸 貴行	う蝕と食物2 (教) pp. 50 資料配布	・ 代用甘味料とう蝕との関係について学ぶ。
第7回 10月29日 田中 一	う蝕と微生物1 (教) pp. 18～22	・ 口腔内常在菌叢について，デンタルプラークの形成過程について学ぶ。
第8回 10月29日 田中 一	う蝕と微生物2 (教) pp. 42～49	・ う蝕原因菌，とくにミュータンス菌とう蝕との関係について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第9回 11月5日 田邊奈津子	う蝕の発生機序 (教) pp. 44～45	・ う蝕の発症要因を踏まえ、その発生機序および初期う蝕の再石灰化について理解を深める。
第10回 11月5日 尾崎 哲則	う蝕の成立 1 (教) pp. 44～45	・ エナメル質う蝕の成立について学び、臨床的、組織的所見について知る。
第11回 11月12日 三澤麻衣子	う蝕の成立 2 資料配布	・ 象牙質う蝕、歯根面う蝕の成立について学び、臨床的、組織的所見について理解する。
第12回 11月12日 三澤麻衣子	う蝕の成立 3 資料配布	・ う蝕の成立を患者にどのように説明をするかを考えていく。
第13回 11月19日 川戸 貴行	う蝕の予防 1 (教) pp. 27～28 資料配布	・ 微生物要因に対応するう蝕予防法の概要を学ぶ。
第14回 11月12日 川戸 貴行	う蝕の予防 2 (教) pp. 27～28 資料配布	・ 宿主要因および食餌性(基質)要因に対応するう蝕予防法の概要を学ぶ。
第15回 11月26日 川戸 貴行	カリオリジーについてのまとめ	・ ベーシックカリオリジーのポイントを整理してシートに書き出し、提出する。
第16回 11月26日 三澤麻衣子	歯周組織の構造 (教) pp. 69 資料配布	・ 歯周組織の構造と機能について学ぶ。
第17回 12月3日 川戸 貴行	歯周病の疫学と病因論 (教) pp. 120～124 資料配布	・ 歯周疾患の歴史、日本の歯周病の現状について知る。
第18回 12月3日 田中 一	歯周病と微生物 1 (教) pp. 18～22	・ 口腔内常在菌叢、歯周病の細菌叢について学ぶ。
第19回 12月10日 田邊奈津子	歯周病の進行 1 (参) pp. 105～113	・ 歯周病における歯周組織の炎症、ついて、疾病の回復・健康増進で学んだ事も含め理解する。
第20回 12月10日 田邊奈津子	歯周病の進行 2 (参) pp. 105～113	・ 歯周病における歯槽骨代謝、骨吸収について理解する。
第21回 12月17日 田中 一	歯周病と微生物 2 (教) pp. 20～22	・ <i>P. gingivalis</i> など、主な歯周病原菌について学ぶ。
第22回 12月17日 田中 一	歯周病と微生物 3 (教) pp. 74～75	・ その他の歯周病関連菌について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第23回 12月24日 田中 一	歯周病の免疫1 (教) pp. 75~76	・ 口腔内の局所免疫の基礎について学ぶ。
第24回 12月24日 田中 一	歯周病の免疫2 (教) pp. 75~76	・ 歯周病における、口腔内局所免疫反応について学ぶ。
第25回 1月14日 三澤麻衣子	歯周病のリスクファクター (教) pp. 76~78 資料配布	・ 歯周病のリスクファクターはどのようなものがあるのかを知る。また、その関係性を疫学調査のデータをもとに理解を深める。
第26回 1月14日 三澤麻衣子	歯周病の成立 1 資料配布	・ 歯肉炎・歯周炎の成立について学び、臨床的、組織的所見について理解する。
第27回 1月21日 三澤麻衣子	歯周病の成立 2 資料配布	・ 咬合性外傷の成立について学び、臨床的、組織的所見について理解する。
第28回 1月21日 三澤麻衣子	歯周病の成立 3 資料配布	・ 歯周炎の成立を患者にどのように説明をするかを考える。
第29回 1月28日 三澤麻衣子	カリオロジー・ペリオドントロジーの視点でみる歯科衛生士の役割	・ これまで学んだ知識をもとに、う蝕と歯周病の予防・治療におけるこれからの歯科衛生士の役割を考える。
第30回 1月28日 川戸 貴行	ベーシックペリオドントロジーのまとめ	・ ベーシックペリオドントロジーのポイントを整理してシートに書き出し、提出する。